

## 令和2年度第2回長崎県地域訓練協議会議事録

日 時 R3.3.2 (火) 14:00~15:30  
場 所 長崎労働局 8階会議室  
出席者 別添名簿のとおり

### 1 開会

本日は、年度末のご多忙の中、ご臨席賜り誠にありがとうございます。

私は、本日の司会を務めさせていただきます、長崎労働局職業安定部訓練室の津田と申します。よろしくお願いいたします。

議事に入ります前に、お手元に配付しております資料の確認をお願いいたします。以上が配付資料となりますが、不足がございましたらお知らせください。お揃いでしょうか。

それでは、ただいまより「令和2年度第2回長崎県地域訓練協議会」を開催いたします。初めに、開催にあたり、長崎労働局長の瀧ヶ平よりご挨拶を申し上げます。

### 2 局長あいさつ

厚生労働省長崎労働局長の瀧ヶ平でございます。

本日は、皆様ご多用のところ、本年度第2回目の長崎県地域訓練協議会にご出席を賜り、誠にありがとうございます。

また、皆様方には、日頃より労働行政の推進に格別のご支援・ご協力をいただいておりますことに、改めまして深く感謝を申し上げます。

さて、長崎県内の雇用失業情勢を見ますと、令和2年平均の有効求人倍率は0.98倍となり、2年連続で低下し、5年ぶりに1倍を下回りました。深刻な人手不足の状況が継続しているなか、公的職業訓練については、セーフティネットとしての役割に加え、労働生産性の向上や技術革新に対応できる人材の育成、また、誰もがいつになっても学び直しと新しい機会を確保するリカレント教育の充実が重要になってきています。

本日の第2回目の協議会につきましては、2月5日に開催されました中央の訓練協議会の結果などを踏まえて開催することとなりますが、本年度の公的職業訓練の実施状況などを踏まえ、来年度における一体的な訓練計画全体を提案して、ご審議いただくこととしております。

我が国の労働・雇用面での課題は、新型コロナウイルス感染症が雇用に与える影響により一層注視しつつ、少子高齢化・生産年齢人口の減少といった構造的な問題に加え、生産性向上の低迷等の問題が存在しており、これらの課題を克服するため、長崎労働局としましても、「働き方改革」の着実な推進に精力的に取り組んでいるところです。また、職業スキルや知識の習得・向上のための職業訓練などの人材開発施策につきましても、「働き方改革」推進の一翼を担う取組として、継続的な推進を図る必要があると考えております。

つきましては、本日お集まりいただきました関係機関の皆様からご意見をお聞かせいただきながら、公的職業訓練を効果的に実施してまいりたいと考えておりますので、今後とも、ご支援・ご協力のほどをよろしくお願い申し上げます、冒頭のあいさつとさせていただきます。

### 3 委員紹介

続きまして、会議次第3の委員紹介に入らせていただきます。

本日ご出席の委員の方につきましては、会議次第の次に「出席者名簿」をお付けしておりますので、名簿順にご紹介いたします。

有識者委員の深浦様です。同じく佐藤様です。

続きまして、産業界委員の岩根様です。岩崎様です。松永様です。山田様です。

続きまして、労働界委員の古川様です。

続きまして、教育・教育訓練機関等委員の河野様です。

川添様です。水谷様です。佛田様です。

続きまして、地方公共団体からですが、廣田委員の代理として、内藤様です。

長崎労働局からは瀧ヶ平です。

なお、オブザーバーとしてご出席の方々もご紹介いたします。

長崎県から野田様・北川様です。

(独)高齡・障害・求職者雇用支援機構長崎支部から山本様・上野様・田熊様・松岡様です。

最後に、事務局は、長崎労働局職業安定部長の小森と訓練室長の塩見です。

### 4 議長選任

続きまして、会議次第4の議長選任でございますが、長崎県地域訓練協議会設置要綱におきましては、会長が会議の議長となり議事を整理することとなっております。

また、会長は委員の互選により選任することとなっておりますが、どなたかお願いできませんでしょうか。ご指名がなければ、事務局より深浦委員にお願いしたいと存じますが、如何でしょうか。

～ 異議なしの声 ～

ありがとうございます。では、深浦会長、よろしくお願いいたします。

### 5. 議題

長崎大学の深浦でございます。よろしくお願い致します。

第1回の協議会は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、書面にて開催させていただきました。

本日は、第2回目の訓練協議会ということでお手元にあります

次第に従いまして、議事を進めて行きたいと思っております。皆様方からの忌憚のないご意見をお聞かせ頂きたいと思っております。

さっそく議事に入りたいと思っておりますが、まずは本年度における公的職業訓練の実施状況につきまして、それぞれの機関から説明をお願い致します。

(1) 令和2年度の公的職業訓練進捗状況について

- ①公共職業訓練の状況〔県オブ(野田・北川)〕
- ②公共職業訓練の状況〔ポリテクオブ(上野・田熊)〕 資料No.2
- ③求職者支援訓練の状況〔事務局(津田)〕 資料No.3

ありがとうございました。

全体的な質疑応答につきましては、最後に時間を取っておりますが、今の説明に対しご質問等があればお受けいたします。

～ 発言なし ～

(2) 令和3年度長崎職業訓練実施計画について

〔事務局(塩見)〕 資料No.4、資料No.5

ありがとうございました。

以上が本日の議事となりますが、これまでの事務局からの説明や提案につきまして、質疑や意見等がありましたらご発言をお願いします。

～ 発言なし ～

(3) 質疑応答・意見交換・提案事項承認

◆質疑・意見

【岩崎委員】

今日(R3.3.2)の新聞にコロナウイルスによる離職者が8万人を超えたとあり、産業別の割合が掲載されており、どの分野が一番多いかなど掲載されていた。労働局のほうで長崎県の方でどういう分野が多いか把握していることは知っているが、全国との共通性やまた全国の動きと異なるような分野があればご説明いただきたい。

【事務局(小森部長)】

人数については、9万人である。1週間ごとに各労働局から報告をしている。離職と今後離職する見込みをあわせて報告している。9万人の内訳は、長崎県の離職者は離職見込みを含め1,400人。

産業別でみると製造業が一番多くなっており、2番目は宿泊・飲食業、3番目として卸売小売業といった3つの業種が多い形になっている。全国的にみてもその3つが非常に多いということで、特に長崎県が特殊な動きをしているわけではない。

製造業は雇用されている人数も多いため、会社数としてはそんなに多くなかったと思うが1社雇用調整を行うことによるインパクトが非常に大きくなってきている。SSK 関連の雇用調整が始まると本体だけではなく関連の下請けまで波及される。都道府県や関連機関と連携しながら情報共有と支援を行っていきたいと考えている。

予定された時刻となりました。

本日、説明された事柄を踏まえまして、提案されました「令和3年度長崎職業訓練実施計画(案)」につきましては、ご承認いただいでよろしいでしょうか。

～ 異議なしの声 ～

◆議題のうち、令和3年度長崎職業訓練実施計画(案)について、全会一致のうえ承認。

ありがとうございました。

新型コロナウイルスの影響により、雇用維持への取り組みとともに、「雇用吸収力のある産業」や「成長分野」への失業なき労働移動を円滑に進めていく必要があります。そのためにも公的職業訓練が果たす役割は極めて重要ですので、いずれの訓練も十分な規模を確保し、利用対象者へ幅広く周知し、利用促進を図っていただきたいと思えます。

それでは、これをもちまして議事を終了し、進行を事務局へお戻しいたします。

#### 司会(津田)

深浦会長ありがとうございました。

委員の皆様におかれましても、ご審議ありがとうございました。

本日ご承認いただきました来年度の訓練計画(案)につきましては、このあと厚生労働省あてに進達いたしまして、本省承認後の4月に入りましてから当局のHPで公表予定でございますが、委員の皆様方にも追ってお知らせいたします。

それではこれをもちまして、本日の協議会を終了させていただきます。なお、来年度の第1回目の協議会につきましては、本年10～11月を予定いたしております。またあらためてご連絡をさせていただきます。本日は年度末のお忙しいところを、誠にありがとうございました。